

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 門司海青 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立への取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

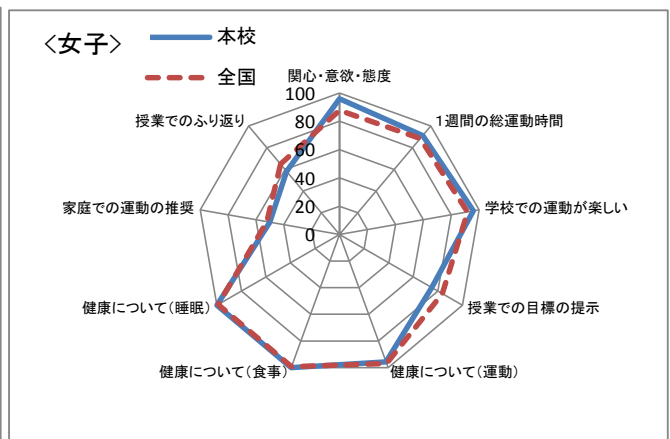
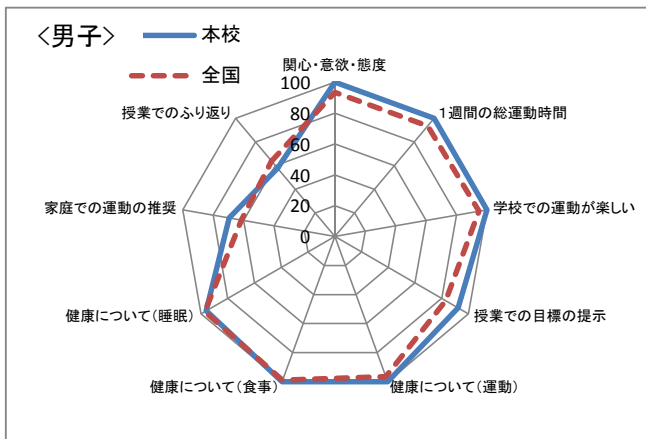
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
本市	16.78	19.79	31.93	41.14	51.08	9.41	151.32	23.82	53.77
全国平均以上の種目							○	○	

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
本市	16.48	18.34	35.88	39.07	40.17	9.67	145.18	13.97	54.74
全国平均以上の種目							○	○	

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

○運動やスポーツに関心・意欲をもっている児童の割合は、全国に比べて高い。特に、男子は100%である。また、学校での運動が楽しいと感じている児童の割合も全国に比べて高く、これも、男子は100%である。男女ともに全国に比べて高いが、若干の男女差がある。

○家庭で運動を勧められる児童の割合について、女子は全国に比べて低い。女子の運動への関心・意欲を高めると同時に、家庭への啓発を行っていく必要がある。

○授業の中で、めあての提示があると答えた児童の割合について、女子は全国に比べて低い。振り返りについては、男女どちらも全国に比べて低い。めあての提示と振り返りを確実に行っていく必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○準備運動に「北九州市体力プログラム」の中から選択した運動を取り入れ、運動については、毎月種類を入替えて実施する。

○最初に必ず1時間のめあてを提示し、最後には振り返りを行う。運動量を確保するために、短時間で効率よく振り返りを行うことができるように、本校独自の振り返りカードの検討・活用を行う。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○児童が楽しみながら運動に親しみ、持久力の向上を図ることができるように、毎週末曜日の中休み、全校で「とべとベタイム」(個人で短縄、学級で長縄に取り組む。)を実施する。

○児童が、1年間の取組の成果を発表する場、保護者への啓発の場として、1月の学習参観日に「持久力大会」を実施する。